

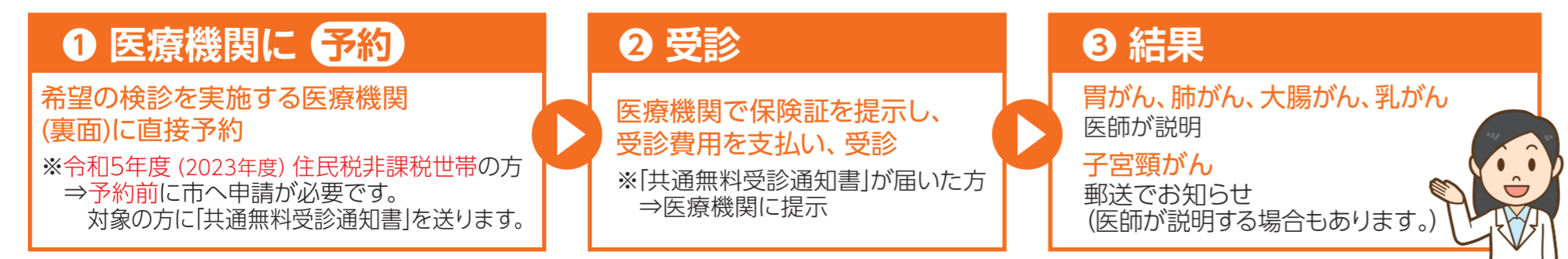
検診ガイド

医療機関に直接「予約する」がん検診

胃がん内視鏡検診	対象 50歳以上 昭和50年3月31日までに生まれた方 (2年に1回)	内容 問診、胃内視鏡検査(胃カメラ)	自己負担額 3,080円 (検診費 約20,000円)
肺がん検診 (結核健康診断)	対象 40歳以上 昭和60年3月31日までに生まれた方	内容 問診、胸部X線検査(二重読影) ※医師が必要と認めた方には、喀痰(かくだん)検査も実施します。	自己負担額 1,100円 (検診費 約6,500円)
大腸がん検診	対象 40歳以上 昭和60年3月31日までに生まれた方	内容 問診、便潜血検査(便の中の血液の有無を調べる検査)	自己負担額 880円 (検診費 約4,500円) セット※ 550円 (検診費 約3,000円)
<p>検査キットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昨年度、市の大腸がん検診を受診され、「異常なし」だった方には事前にお送りします。(精密検査が必要と判定された方は、精密検査を受診した医療機関の指示に従ってください。) • 昨年度、未受診の方は、受診する医療機関からお受け取りください。(市ではお渡ししません。) <p>※市の特定健診・後期高齢者健診と同時受診で割引になります。</p>			
乳がん検診	対象 40歳以上 昭和60年3月31日までに生まれた女性 (2年に1回)	内容 問診、乳房X線(マンモグラフィ) ※視触診は、今年度以降実施しません。	自己負担額 2,200円 (検診費 約13,000円)
子宮頸がん検診	対象 20歳以上 平成17年3月31日までに生まれた女性	内容 問診、視診、頸(けい)部細胞診、内診 ※科学的に、2年に1回受診することが必要とされています。	自己負担額 1,100円 (検診費 約8,000円)

予約期間	令和6年(2024年)5月13日(月)から翌年1月30日(木)まで ※当日の予約はできません。 ※予約期間中であっても、医療機関ごとに定員に達した場合、予約受付を終了することがあります。
受診期間	令和6年(2024年)6月1日(土)から翌年1月31日(金)まで
受診場所	裏面「令和6年度(2024年度)八王子市特定健診・がん検診等実施医療機関一覧」をご覧ください。

受診方法 (直接医療機関に予約)



一生のうちに**2人に1人**が“がん”になり、
3人に1人が“がん”で亡くなっています。
八王子市のがん検診は、八王子市に住居登録があり、ご自身や配偶者の勤務先、学校、人間ドックなどで**受診機会のない方**が、今年度対象となる検診を1回受診できます。**自身と家族の大切な未来のため、がん検診を受診しませんか？**

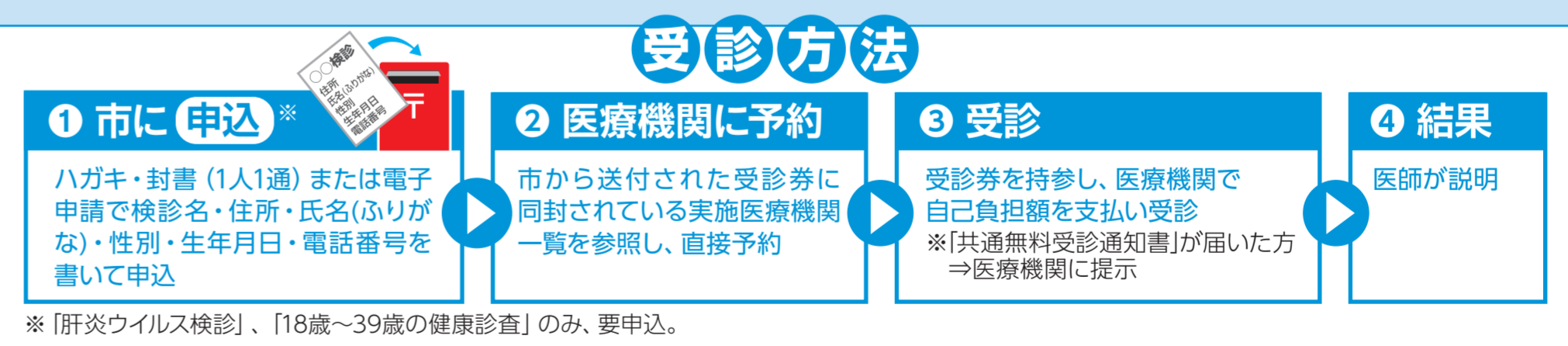
健康診査受診券
八王子市国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者、及び生活保護利用者等の健康診査受診券は**5月下旬**に発送します。

市が実施するその他の検診(健診)

はがきや電子申請 で申込む検診(健診)			● 申込受付…5月1日から ● 受診券送付…5月下旬から ● 受診場所…裏面のとおり
肝炎ウイルス検診	対象 肝炎ウイルス検査を受けたことがない方 内容 B・C型肝炎ウイルス検査	自己負担額 無料 (検診費 約8,000円)	
18歳～39歳の健康診査	対象 18歳～39歳(昭和60年4月1日～平成19年3月31日生) ・市国保加入者 ・市国保以外の健康保険等の被扶養者 ・生活保護利用者 内容 問診、血圧測定、尿・血液検査など	自己負担額 2,200円 (健診費 約10,000円)	
市から受診券 をお送りする検診(健診)			● 受診券送付…5月中旬 ● 受診場所…受診券に同封の市内指定歯科医院 ※対象者全員へ受診券を送付するため、申込は不要。
歯と口腔歯周病検診	対象 40歳・50歳・60歳・70歳 ※令和7年(2025年)3月31日時点年齢 内容 問診、歯周病の有無など	自己負担額 500円 (検診費 約5,500円)	
後期高齢者歯科健康診査	対象 76歳・80歳 ※令和7年(2025年)3月31日時点年齢 内容 問診、口腔機能検査など	自己負担額 500円 (健診費 約5,500円)	

「肝炎ウイルス検診」「18歳～39歳の健康診査」「歯と口腔・歯周病検診」「後期高齢者歯科健康診査」の

受診期間 令和6年(2024年)6月1日(土)から翌年1月31日(金)まで



八王子市の各種がん検診について

- **推奨年齢** 国は69歳以下の方に対し、がん検診の受診を推奨しています。
- **利益・不利益** がん検診には、早期発見・早期治療による延命効果、がん死亡の減少など、**利益(メリット)**がある一方、がんが100%見つかるわけではない、不必要な治療や検査を受ける、検査に伴う偶発症、結果がわかるまでの不安といった**不利益(デメリット)**もあります。
- **結果の記録・活用** 検診精度向上のため、検診結果、受診歴は記録活用されます。また、精密検査の結果は市へ報告されます。
- **結果判定** 「精密検査が必要」と判定された場合には、必ず精密検査を受けましょう。また、「精密検査不要」と判定されても、気になる症状があれば、医療機関を受診してください。
- **継続受診** 1回の検診受診で安心せず、定められた間隔で**定期的**に受診することが大切です。
- **症状のある方** がん検診は、自覚症状のない健康な方からがんを見つけるものです。症状がある、何らかの不安がある、治療・経過観察中の方は、**保険診療**で受診してください。